

2025年12月CPについて



【12月CP分析】

原油価格が下落した一方で、アジア地域のLPG需要に若干の上昇傾向が見られたことと、中東産ガス国の中東産ガス国（サウジアラムコ）の供給不安が影響し、12月プロパンCPは495.00ドル/トン（前月比+20.00ドル）、ブタンCPは485.00ドル/トン（前月比+25.00ドル）にて決定しました。原油価格は、OPECプラスが増産方針を示していることや、需要期にも関わらず米国原油在庫が増加傾向にあることが影響し、若干の下落傾向にて推移し、11月1日～28日平均のアラビアンライト原油価格は65.69ドル/バレル、前月比▲1.69ドル/バレルとなりました。原油価格は下落推移となったものの、需要期に向けて、アジア地域の需要に若干の上昇傾向が見られたことに加えて、11月、12月にてサウジアラムコのプロパン輸出余力が低下していることと、11月中旬にクウェートで発生した製油所火災によりLPG供給が制限されたことが影響し、12月プロパンCPは495ドル/トン（前月比+20.00ドル）、ブタンCPは485ドル/トン（前月比+25.00ドル）と決定しました。